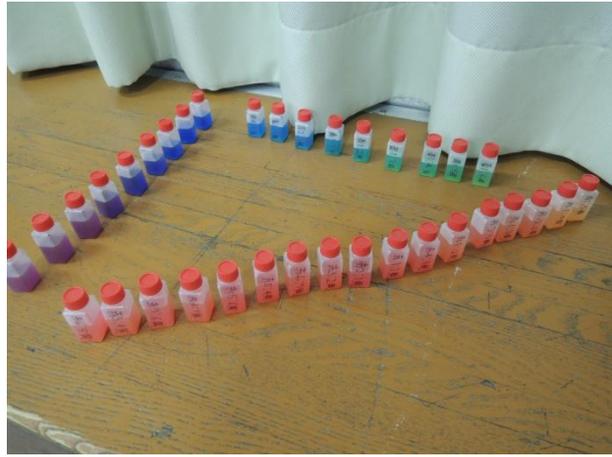
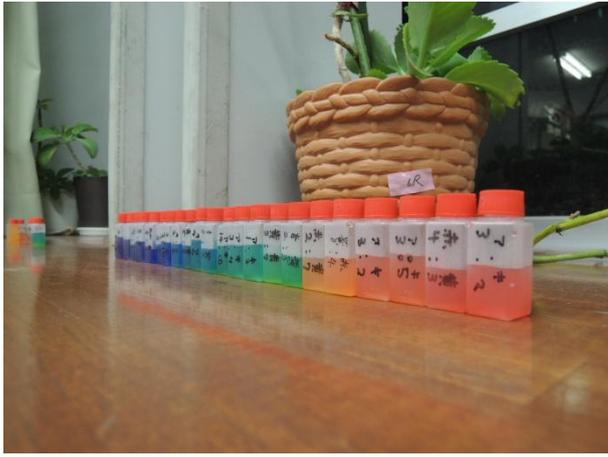


オープンプラン 6年算数「比～割合の表し方」



割合を比を使って表す学習です。ここでは、赤・青・黄色の色水を使って授業をしました。まず、子ども達が好きな割合で色々な色を作ります。「赤の色水をキャップ1杯と黄色2杯でオレンジになった。」などの嬉しそうな声が聞こえてきました。それを「赤：黄色＝1：2」と表すことを教えました。色々な色ができてくると、子ども達は、きれいにグラデーションになるように並べたくなってきます。

ここで、「赤：黄色＝1：2と1：3では、どちらのほうが、黄色に近い色ですか？」

もちろん1：3です。子ども達も全員が「黄色！」と答えてくれました。

では、「1：2と1：3と2：5ではどうですか？」

少し、難しくなりますよね。比についてまだ習いたての子ども達の多くも悩んでいました。

「1：2！」「1：3！」「2：5！」回答もバラバラです。

そこで、「さっきの1：2と1：3はすぐに比べられたのに、何で2：5は比べにくいのか？」と聞きました。

すると、「さっきの1：2と1：3は赤が1でそろってたから・・・」と一人の男の子が話し出すと、「そうか！」と周りの子達の表情が変わりました。「そろえればいいんだ！」

そこからは、個別での学習です。1：2と1：3を2倍して、2：4と2：6にする児童。2：5を2分の1にして1：2.5にする児童。そうすることで比べることができることを発見することができた子ども達。そこからは、さらに美しいグラデーションになるように「2：3と3：4にあるのはどんな色（比）だろう」と自分で考えていくことができました。子ども達が「そうか！」となる瞬間。新しい知恵をワクワクしながら使っている瞬間を見るために、授業を考えていきたいです。